

県立図書館の改修等について

1 施設の概況

	《本館》	《新館》
建築年等	昭和43年（築57年）国登録有形文化財	昭和58年（築42年）
延床面積	3,682.69㎡	2,003.77㎡

(2階)	閲覧スペース	事務室等	閲覧スペース
(1階)	こども図書コーナー・学習室等	事務室等	書庫
(地下1階)	[玄関]		書庫
(地下2階)			書庫

利用者の立ち入るサービス部門
 管理部門

2 現状・課題

県立図書館においては、本館は築50年以上、新館においても築40年以上が経過し、老朽化や狭あい化等が顕著

(1) 老朽化

- ・ 空調、給排水衛生、電気など設備の多くが改修の時期を迎えており、故障の都度緊急修繕を繰り返すなど非経済的な状況

(2) 狭あい化等

- ・ 図書や郷土資料など資料の増加に伴い、保存スペースが不足し、今後数年で収容能力が限界に達する見込み
- ・ すでに、書庫で保管すべき資料をサービス部門のスペースで保管せざるを得ないことから、通路幅や書架と書架の間を狭めたり、閲覧スペースを縮小したりなどの支障が生じている。
- ・ 通路幅や書架間が狭く、車椅子利用時の支障や、エレベーターの位置が分かりにくいなど、バリアフリーの面でも課題がある。

3 今後の取組等

- ・ 県立図書館としての機能や役割は大きく変えず、上記課題の解決や利便性の向上を図るため、国の登録有形文化財となっている本館を生かしつつ、現有建物の改修等の検討に着手する。
- ・ 工事期間、事業費などについて、今後検討を進めていく。